Quality is more than a word

ESPEC

第63期

株主通信

2015年4月1日から2016年3月31日まで

株主のみなさまへ

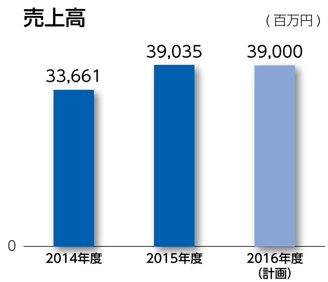
株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

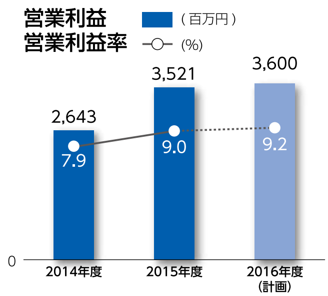
2015年度（2015年4月1日〜2016年3月31日）の日本経済は、米国の堅調な景気拡大や円安・原油安を背景とした企業の収益改善などにより回復基調が継続しましたが、中国経済の減速や地政学リスクなど世界経済への影響が懸念される状況となりました。
当社の主要なお客さまにおきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続するとともに、エレクトロニクス関連メーカーでも投資意欲の改善が見られました。こうした中、当社は、国内市場において、エコカーを中心とする自動車市場での取り組みを強化し、主力の環境試験器において汎用性の高い標準製品・カスタム製品ともに好調に推移しました。
また、海外市場では、重点市場と位置付けている中国・東南アジアを中心に営業活動を強化し、輸出が堅調に推移するとともに、中国・米国子会社の売上高も好調に推移しました。

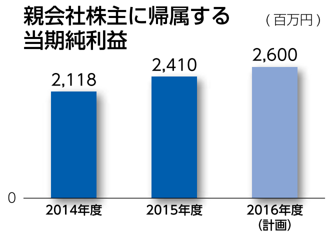
こうした結果、連結業績は、売上高は前期比で16.0%増となり、営業利益は33.2%増、親会社株主に帰属する当期純利益は13.8%増となりました。期末配当金につきましては、1株当たり23円となり、年間の配当は前期を6円上回る32円（配当性向30.5%）となりました。

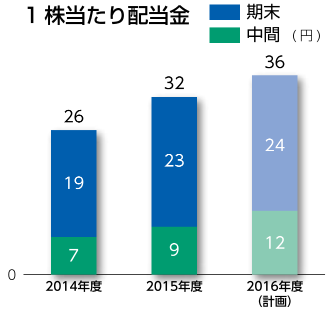
2016年度におきましては、グループ連携の一層の強化により海外市場での売上拡大を目指すとともに、自動車や航空機、医薬品などの分野をターゲットに事業領域の拡大に取り組んでまいります。国内では、当社独自のサービスやカスタム対応を強化し、競争力を高めてまいります。
連結業績につきましては、売上高39,000百万円、営業利益3,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,600百万円を計画しております。年間の配当金につきましては1株当たり36円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。









代表取締役社長 石田（いしだ） 雅昭（まさあき）

エスペックグループ会社
『ESPEC NORTH AMERICA』のご紹介

グローバルエスペックを支える米国拠点『ESPEC NORTH AMERICA』工場を増設し拡大する自動車市場へ対応

米国子会社のESPEC NORTH AMERICA（以下ENA）は、1983年に当社が初めて海外に設立した現地法人です。米国のミシガン州に本社・工場を持ち、高性能で高品質な環境試験器の開発、生産、販売およびサービスを行っています。独自の開発製品である温度サイクル試験器<グローバルN>、恒温（恒湿）室<ウォークイン>、小型タイプの恒温（恒湿）器<クライテリオン>などを米国だけでなく、中国や東南アジアなど世界各国に販売しています。また、ENAでは自社開発の製品に加え、エスペックグループの製品も扱っており、豊富な品揃えと質の高いサービスにより米国内シェア第２位を誇っています。

設　　立　：　1983年
従業員数　：　185名
事業内容　：　環境試験器の開発・生産・販売・サービス
敷地面積　：　53,540m²
建屋面積　：　12,081m²

温度サイクル試験器
<グローバルN>

恒温（恒湿）室
<ウォークイン>

加速するエコカー開発と自動運転技術開発に対応 さまざまな試験装置を提供

世界的な燃費規制を背景に、自動車市場ではハイブリット車（HV）、電気自動車（EV）などのエコカー市場が急拡大しており、これらに搭載される車載用二次電池の開発・生産も進んでいます。また、自動車の安全性能の向上に向けた自動ブレーキや各種センサーなどの技術開発も活発化しており、北米やメキシコの完成車市場や車載部品市場においても環境試験の需要が高まっています。このようなエコカーや自動運転技術の開発分野において、ENAでは生産能力を増強するなど、今後ますます高まる試験ニーズに的確に対応してまいります。

自動車が1台入る大型の環境試験装置

工場を拡張し、オープンハウスを開催

2015年10月、ENAでは既存の工場エリア6,100m^2に、新しく2,900m^2拡張し、生産能力を増強しました。また、会議室やカフェテリアなどの増築も行いました。それに伴い、同月、従業員とそのご家族を招待したオープンハウスを開催。新たに導入した生産設備の紹介や既存システムの見学を行ったほか、特設のゲームコーナーを設けてパーティを開催するなど、楽しいイベントとなりました。

工場内部

特設ゲームコーナー（工場内）

TOPICS

米国のQUALMARK CORPORATIONを子会社化

2015年12月、当社はHALT&HASS試験機のトップメーカー QUALMARK CORPORATION（米国コロラド州）を連結子会社としました。HALT&HASS試験機は、製品の使用限界を超えた高ストレスを製品に負荷することで設計および製造段階における初期不良を検出する試験機です。QUALMARK CORPORATIONは、一般的な環境試験よりもはるかに短い時間で故障を検出する加速試験に関する独自の技術とノウハウを有しています。今後は同社とのシナジーにより、加速試験分野における新製品開発や受託試験サービスのさらなる充実に取り組み、事業領域の拡大を図ってまいります。

海洋深層水を使用した高機能野菜を生産・販売

子会社のエスペックミックは、海洋深層水を使用したミネラルに富んだ高機能野菜の生産・販売を開始しました。エスペックミックでは、かねてより人工光型植物工場で高機能野菜を栽培する技術として海洋深層水に着目し、その栽培技術の研究を株式会社ディーエイチシー※1と京都大学との共同で行ってきました。羽田空港近郊に臨空型植物工場を設置し、マグネシウムやカルシウムなどを豊富に含む高機能野菜を栽培して高級スーパーマーケットなどで販売します。空港近郊の工場とすることで物流コストの抑制や納期の短縮化を図り、北米など海外への輸出も視野に植物工場の新たな市場開拓を進めてまいります。

※1 株式会社ディーエイチシー
化粧品、サプリメントなどの製造販売会社

QUALMARK　CORPORATION

HALT&HASS試験機

羽田空港近郊 臨空型植物工場

小型環境試験器が国際的なデザイン賞「ｉＦデザインアワード2016」を受賞

2016年1月、小型環境試験器がドイツのiF International Forum Designが主催する「ｉＦデザインアワード2016」において、ｉＦデザインアワード（プロダクト分野）を受賞しました。これは、国際的に権威のあるデザイン賞であり、世界53カ国、5,295点の応募の中から選定されました。小型環境試験器は当社の主力製品の一つで、電気電子部品、自動車部品の研究開発における信頼性評価などで使用されており、コンパクトさと高性能を両立した機能性の高いデザインが海外でも高い評価を受けています。なお、同製品は2014年度グッドデザイン賞（公益財団法人日本デザイン振興会主催）を受賞しています。

小型環境試験器

受賞会場（ミュンヘン）

CSRレポートが環境コミュニケーション大賞「優良賞」を受賞

2016年2月、当社の「CSRレポート2015」が、環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム主催の「第19回環境コミュニケーション大賞」において、環境報告書部門「優良賞」を受賞しました。当社のレポートは、コンパクトにCSR課題全般を網羅しながらも、事業内容をはじめ、現況から将来のビジョンまで理解可能なこと。環境への取り組みでは、各項目に具体的な数値目標を設定・開示するなどバランスの取れた内容であることが評価されました。当社が受賞するのは今回で２度目となります。このたびの受賞を励みに、今後もCSR経営の推進と情報開示に積極的に取り組んでまいります。

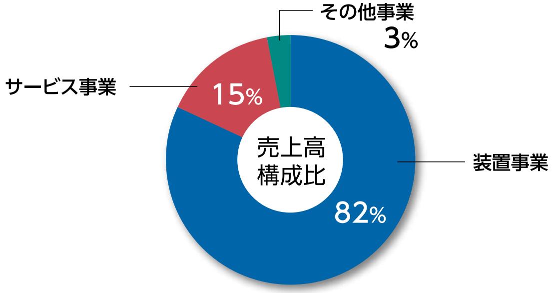
子育てサポート企業認定マーク「くるみん」を取得

2016年2月、厚生労働省大阪労働局より子育てサポート企業として次世代認定マーク（愛称：くるみん）を取得しました。

大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証

2016年3月、大阪市より「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の認証を受けました。

事業セグメント別概況



〈装置事業〉
- 環境試験器
- エナジーデバイス装置
- 半導体関連装置

〈その他事業〉
- 環境エンジニアリング
  森づくり・水辺づくり・都市緑化など
- 新規事業
  植物工場など

〈サービス事業〉
- アフターサービス・エンジニアリング
- 受託試験・レンタル

装置事業

環境試験器が国内外で好調に推移し、増収増益

環境試験器では、国内において汎用性の高い標準製品が好調に推移するとともに、カスタム製品も自動車市場を中心に好調に推移しました。海外では、米国・中国・東南アジアを中心に輸出が堅調に推移し、米国・中国子会社が好調に推移しました。こうした結果、環境試験器全体では受注高・売上高ともに前期比で増加しました。

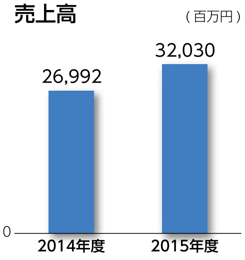
エナジーデバイス装置では、車載用二次電池の充放電評価装置やパワー半導体の評価装置の受注獲得に注力し、受注高は前期並みとなり売上高は増加しました。

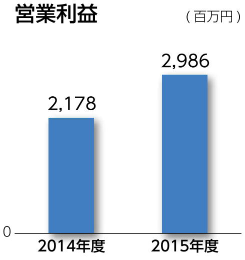
半導体関連装置では、スマートフォン関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前期比で増加しました。

装置事業全体では、前期比で売上高は18.7%増加し、営業利益は売上高の増加により37.1%増加しました。

恒温恒湿器
プラチナスJシリーズ

小型環境試験器





サービス事業

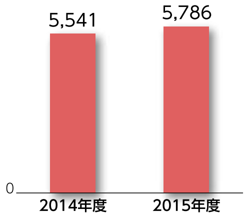
受託試験が堅調に推移し、増収増益

アフターサービス・エンジニアリングでは、受注高・売上高ともに前期並みとなりました。受託試験・レンタルでは、自動車市場において主力のテストコンサルティングが堅調に推移し、受注高・売上高ともに前期比で増加しました。サービス事業全体では、前期比で売上高は4.4%増加し、営業利益につきましては販管費の減少などにより19.8%増加しました。

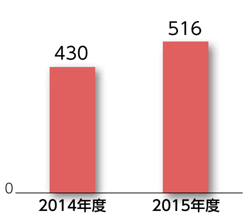
バッテリー安全認証センター
（エナジーデバイス環境試験所内）

車載用二次電池の圧壊試験装置

売上高 （百万円）



営業利益 （百万円）



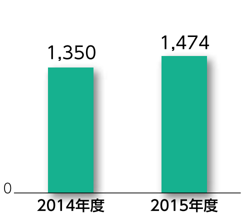
その他事業

売上高は増加したものの減益

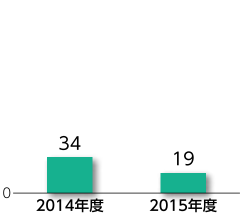
子会社であるエスペックミック株式会社の森づくりや植物工場事業が堅調に推移しました。
その他事業全体では、売上高は前期比で9.2%増加しましたが、営業利益につきましては研究開発費の増加などにより前期比で44.1%減少しました。

海洋深層水を利用したミネラル豊富な高機能野菜を栽培

売上高 （百万円）



営業利益 （百万円）



要約財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

科　目	当期末 2016年3月31日	前期末 2015年3月31日
資産の部		
流動資産	33,640	33,036
固定資産	14,405	13,755
有形固定資産	10,081	9,644
無形固定資産	1,126	364
投資その他の資産	3,197	3,746
❶ 資産合計	48,045	46,792
負債の部		
流動負債	10,783	9,336
固定負債	1,628	2,003
❷ 負債合計	12,411	11,340
純資産の部		
株主資本	35,161	34,072
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	6,914	7,172
利益剰余金	22,441	20,554
自己株式	△1,090	△550
その他の包括利益累計額	472	1,085
非支配株主持分	―	293
❸ 純資産合計	35,633	35,451
負債純資産合計	48,045	46,792

❶ 総資産

前期末と比べ1,253百万円の増加となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加2,319百万円、電子記録債権の増加894百万円、有価証券の減少2,999百万円、仕掛品等のたな卸資産の増加1,128百万円などによるものです。

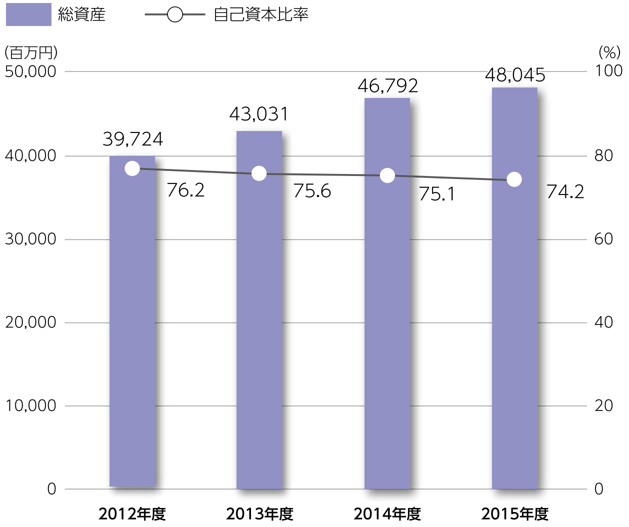
❷ 負債

前期末と比べ1,071百万円の増加となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,723百万円、電子記録債務の増加3,170百万円、繰延税金負債の減少232百万円などによるものです。

❸ 純資産

前期末と比べ182百万円の増加となりました。その主な要因は株主資本の増加1,088百万円、その他の包括利益累計額の減少613百万円、非支配株主持分の減少293百万円などによるものです。

総資産／自己資本比率

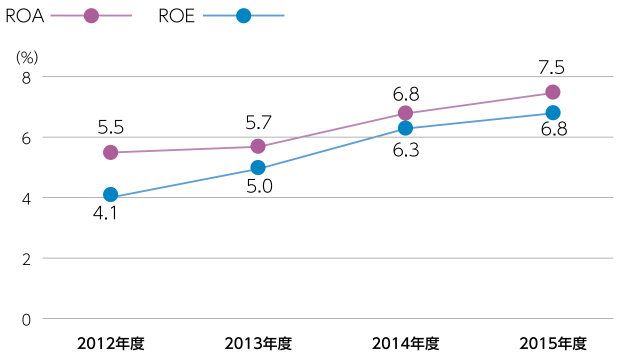


連結損益計算書

(百万円)

科　目	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
売上高	39,035	33,661
売上原価	25,461	21,567
売上総利益	13,573	12,094
販売費及び一般管理費	10,051	9,450
営業利益	3,521	2,643
営業外収益	260	422
営業外費用	211	21
経常利益	3,570	3,044
特別利益	32	272
特別損失	9	7
税金等調整前当期純利益	3,593	3,309
法人税等	1,164	1,142
非支配株主に帰属する当期純利益	18	48
親会社株主に帰属する当期純利益	2,410	2,118

総資産経常利益率(ROA)／自己資本利益率(ROE)



連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科　目	当期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで	前期 2014年4月1日から 2015年3月31日まで
❹ 営業活動によるキャッシュ・フロー	356	1,818
❺ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,100	△293
❻ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,924	△508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78	297
現金及び現金同等物の増減額	△4,747	1,314
現金及び現金同等物の期首残高	14,167	12,853
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	176	ー
現金及び現金同等物の期末残高	9,596	14,167

❹ 営業活動によるキャッシュ・フロー

356百万円の資金の増加となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上3,593百万円、売上債権の増加2,957百万円などによるものです。

❺ 投資活動によるキャッシュ・フロー

3,100百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、有価証券の取得による支出600百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出959百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,347百万円などによるものです。

❻ 財務活動によるキャッシュ・フロー

1,924百万円の資金の減少となりました。その主な要因は、配当金の支払額648百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出578百万円、自己株式の取得による支出630百万円などによるものです。

会社概要・株式の状況・株主メモ

会社概要(2016年3月31日現在)

社　名	エスペック株式会社
本　社	〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
創　業	1947年(昭和22年)7月25日
設　立	1954年(昭和29年)1月13日
資本金	6,895百万円
従業員数	1,409名(連結)　815名(単体)

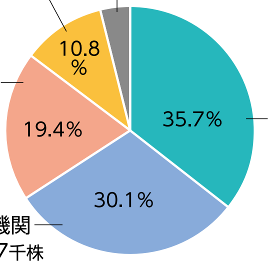
役員(2016年6月24日現在)

代表取締役社長	石田雅昭
常務取締役 上席執行役員	島田種雄
常務取締役 上席執行役員	石井邦和
社外取締役	志関誠男
社外取締役	長野寛之
常勤監査役	村上　充
常勤監査役	小田隆昭
社外監査役	山本哲男
社外監査役	堤　昌彦
上席執行役員	桶谷　馨
上席執行役員	村上精一
上席執行役員	大島敬二
執行役員	浜野寿之
執行役員	末久和広
執行役員	渕田健二

株式の状況(2016年3月31日現在)

発行済株式総数	23,781,394株 (自己株式922,514株を含む)
株主数	5,392名

所有者別株式数分布状況



大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
エスペック取引先持株会	1,981	8.33
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,860	7.82
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	926	3.89
エスペック株式会社	922	3.87
エスペック従業員持株会	857	3.60
日本生命保険相互会社	790	3.32
MSCO CUSTOMER SECURITIES	543	2.28
株式会社みずほ銀行	513	2.15
株式会社立花エレテック	419	1.76
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	393	1.65

株主メモ

決　算　期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
中間配当制度	有
基　準　日	3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日
株式上場取引所	東京証券取引所（証券コード：6859）
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲1丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
電話お問合せ先	0120-288-324（通話料無料）
お　取　扱　店	みずほ証券株式会社 （本店および全国各支店、プラネットブース［株式会社みずほ銀行内の店舗］） みずほ信託銀行株式会社（本店および全国各支店）
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社（本店および全国各支店） 株式会社みずほ銀行（本店および全国各支店） （みずほ証券株式会社では取次のみとなります）
公　告　方　法	電子公告 電子公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.espec.co.jp/corporate/ir/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載

お問合せ先

エスペック株式会社　コーポレートコミュニケーション部
Tel：06-6358-4744　e-mail：ir-div@espec.co.jp

ホームページのご案内

当社ホームページが、日興アイ・アール主催の「2015年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」において最優秀サイトに選定されました。これは全上場企業3,622社のホームページを対象に客観的な169の評価項目に基づき、優れた企業を表彰するものです。2016年4月には英語サイトをリニューアルしました。ぜひご利用ください。

http://www.espec.co.jp

企業ホームページ
最優秀サイト
2015
日興アイ・アール
総合ランキング

株主アンケートのお願い

当社は、株主のみなさまからいただいたご意見を真摯に受け止め、経営に反映させていきたいと考えております。つきましては、別紙アンケートにご協力いただきますようお願い申しあげます。
（締切：2016年7月25日当日消印有効）
アンケート結果につきましては、中間株主通信にて報告させていただきます。なお、アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で300名の方に1,000円分の図書カードを進呈いたします。
（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます）

証券コード:6859

エスペック株式会社

FSC
www.fsc.org
ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC™ C084686